

17. 広島県

エコタウン 名称	びんごエコタウン		
承認年	平成 12 年		
エコタウン の特長	本県東部に位置する備後地域(三原市(旧大和町除く)、尾道市、福山市、府中市、世羅町、神石高原町)は、瀬戸内海沿岸の中核的な工業拠点として発展し、鉄鋼、化学等の素材産業が多く集積している。その設備や技術を生かして、回収フロン破壊及び再生や使用済みプラスチックの高炉原料化、食品トレーから食品トレーへのリサイクルなど、従来から資源循環型地域社会の構築のポテンシャルが高い地域である。		
URL	http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/i-i5-bingo-new-toppage-toppage.html		
自治体の 取組	財政面の 支援	例) 補助金、 優遇措置、等	<p>【広島県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○びんごエコタウン地域内のびんごエコ団地内 ・次の額を助成 土地売買代金×25%及び施設整備費×15%(限度額1億円) ○びんごエコ団地以外のびんごエコタウンモデル地域内 ・施設整備:補助対象経費の3分の1に5%を加えた率以内で助成
			<p>【福山市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○びんごエコ団地 ・事業所設置奨励金(固定資産税等助成):固定資産税相当額の一定割合・3年間(限度額:各年度1億円)、資産割事業所税相当額の一定割合・3年間(限度額:各年度600万円)、(設備助成)設備投資額(土地代を除く)×5%(限度額5,000万円) ・雇用奨励金:新規雇用従業者数×20万円(限度額4,000万円) ○びんごエコ団地以外の福山市内の産業団地 ・事業所設置奨励金(固定資産税等助成):固定資産税相当額の一定割合・3年間(限度額:各年度1億円)、資産割事業所税相当額の一定割合・3年間(限度額:各年度600万円)、(設備助成)設備投資額(土地代を除く)×5%(限度額5,000万円) ・雇用奨励金:新規雇用従業員数×20万円(限度額4,000万円) ・土地助成:土地取得価格×5%(限度額なし)(一定の要件あり)
			<p>【三原市】</p> <p>市内産業団地対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定資産税相当額奨励金:固定資産税相当額の一定割合・3年間(限度額:各年度1億円)(一定の要件あり) ・雇用奨励金:操業開始後1年継続した雇用者数×20万円(市外居住者は10万円)(限度額2,000万円)(一定の要件あり) ・生産設備投資額奨励金:建物・償却資産の投資額×5%(限度額1億円)(一定の要件あり) ・土地取得奨励金:土地取得費の5%(三原西部工業団地のみ10%)(一定の要件あり)

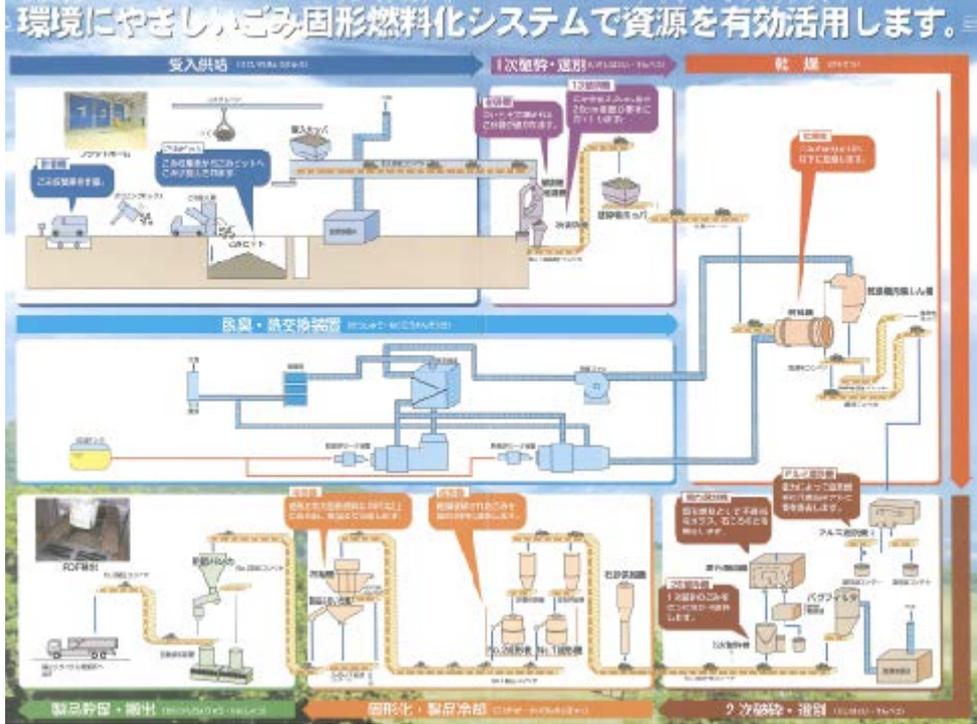
	その他	例) 産官学連携、協議会等の設置、情報発信、等	・ホームページやイベント等において、事業者の取組状況の紹介	
問合せ先 窓口	担当部署名	環境県民局循環型社会課		
	担当者名	山根 直子		
	連絡先	電話番号	082(513)2951	
		FAX	082(227)4815	
Eメールアドレス		kanjuncan@pref.hiroshima.lg.jp		

17.1 神石高原町役場（施設名：クリーンセンターじんせき）

17.1.1 事業者情報

名 称	神石高原町役場（施設名：クリーンセンターじんせき）			
本社住所	〒720-1522	広島県神石郡神石高原町小畠 2025		
資本金、出資金	千円			
従業員数	人			
設立年月日	平成 14 年 12 月から供用開始			
URL	http://www.jinsekigun.jp/			
事業概要	一般廃棄物のうち可燃物の処理を焼却処理ではなく固形燃料化することにより廃棄物の有効利用を図る。			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	環境衛生課		
	担当者名	岡部琢也		
	連絡先	電話番号	0847-89-3336	
		FAX	0847-85-3394	
E メールアドレス		jk-kankyo@town.jinsekikogen.hiroshima.jp		

17.1.2 技術情報

キーワード	固形燃料			
技術名称	RDF 製造技術			
技術の分類	固形燃料化(RDF、RPF)			
目的・用途	福山リサイクル発電所の発電用燃料として利用			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図	 <p>環境にやさしいごみ固形燃料化システムで資源を有効活用します。</p>			
廃棄物の種類	一廃	可燃ごみ	受入条件、形状	金属等の異物の混入がないこと
供給資源・製品	RDF		形状	Φ10~20 mm × 長さ 30~50 mm程度
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・焼却埋立処分されず新たな資源(固形燃料:RDF)としてリサイクルが可能であり、焼却処理ではないためダイオキシンの発生も抑制できる。	

17.1.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	可燃ごみ	非公開	非公開	t/年
受入可能量	可燃ごみ	-	非公開	t/日
販売実績量の推移	RDF	非公開	非公開	t/年
主な調達先	町内の家庭等から排出される一般廃棄物			
主な供給先	福山リサイクル発電所			

17.2 福山リサイクル発電株式会社

17.2.1 事業者情報

名 称	福山リサイクル発電株式会社			
本社住所	〒721-0956	福山市箕沖町 107 番 8		
資本金、出資金	1,600,000 千円			
従業員数	6 人			
設立年月日	平成 12 年			
URL	http://www.frpc.co.jp/			
事業概要	<p>広島県内の福山市をはじめとする7団体が製造したRDF(ごみ固形燃料)を焼却処理して発電する。</p> <p>また、発生した燃焼ガスはボイラーで熱回収を行い蒸気タービンによる発電を行っている。</p> <p>焼却灰は溶融してスラグ、メタルとして有効利用している。</p> <p>なお、発電した電力はPPS(特定規模電気事業者)と福山市へ売却する。スラグ、メタルは有価で売却している。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	業務課		
	担当者名	池田峯男		
	連絡先	電話番号	084-920-2480	
		FAX	084-920-2252	
Eメールアドレス		frpc-ikeda@chorus.ocn.ne.jp		

17.2.2 技術情報

キーワード	福山リサイクル発電		
技術名称	RDF 利用発電		
技術の分類	廃棄物発電		
目的・用途	RDF を焼却して発電する		
特長	RDF の広域処理(広島県内の7工場で製造された RDF を処理している)		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図	<p>RDF 製造施設⇒搬入・貯蔵⇒ガス化溶融炉へ投入⇒燃焼ガスをボイラーで熱回収⇒蒸気タービンで発電⇒売電</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>溶融した焼却灰は水で冷却してスラグとメタルに分離し有価で引取り</p>		
廃棄物の種類	一廃	RDF(ごみ固形燃料)	受入条件、形状 水分、灰分、可燃分、形状等チェック
供給資源・製品	電気		形状
	スラグ		形状 砂状
	メタル		形状 粒状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	RDF 処理委託料が発電した電気を売却することにより下がる。
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	一般廃棄物を RDF 化したバイオマス発電の電気(再生可能エネルギー)を利用している。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	見学者数・年間約 500 人

17.2.3 実績情報

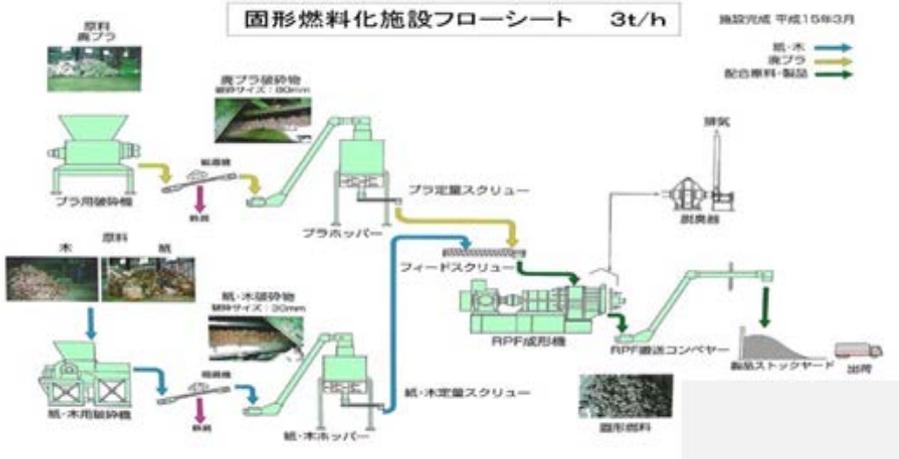
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	RDF(ごみ固形燃料)	74,827	71,771	t
受入可能量	RDF(ごみ固形燃料)	-	94,000	t
販売実績量の推移	電気	91,730	91,824	千kw
	スラグ	7,876	6,592	t
	メタル	618	609	t
主な調達先	福山市、大竹市、廿日市市、府中市、甲世衛生組合、神石高原町、庄原市			
主な供給先	PPS(特定規模電気事業者)、福山市 RDF 製造工場			

17.3 株式会社オガワエコノス

17.3.1 事業者情報

名 称	株式会社オガワエコノス		
本社住所	〒 726-0013	広島県府中市高木町 502-10	
資本金、出資金	10,000 千円		
従業員数	208 人		
設立年月日	昭和 27 年		
URL	http://www.o-econos.com		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬及び中間処理・再生 ・下水処理施設及びごみ処理施設の維持管理 ・浄化槽の維持管理及び清掃 ・固形燃料(RPF)の製造及び販売 ・肥料の製造及び販売 		
事業所写真	 <p style="text-align: center;">RPF製造施設（A棟） 全景 (床面積 1260㎡)</p>		
問合せ先窓口	部署名	鶉飼工場	
	担当者名	野津山 竜二	
	連絡先	電話番号	0847-47-6110
		FAX	0847-47-6112
Eメールアドレス		http://www.o-econos.com	

17.3.2 技術情報

キーワード	紙くず・木くず・廃プラ、固形燃料			
技術名称	RPF 製造技術			
技術の分類	固形燃料化(RDF,RPF)			
目的・用途	RPF は、石炭の代替え燃料として大手製紙会社のボイラーに使われています。			
特長	<ul style="list-style-type: none"> ・価格が石炭の 1/2~1/3 と安価である。 ・燃え殻が石炭より少ない。 ・CO2 排出量が石炭より少ない。 			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃・産廃	廃木材	受入条件、形状	
	一廃・産廃	古紙	受入条件、形状	
	一廃・産廃	繊維くず	受入条件、形状	
	一廃・産廃	汚泥	受入条件、形状	含水率の低い物 (乾燥・炭化汚泥など)
	一廃・産廃	廃プラスチック類 (PET除く)	受入条件、形状	塩素含有物を除く

供給資源・製品	RPF		形状	φ38mm、長 100mm
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・焼却埋立処分されていた廃プラ、木くず、紙くずを固形燃料化(RPF) する事によりリサイクルが可能になり、排出者はゼロエミッションを向上することができます。 ・塩素を含まない廃プラであれば、どんな種類の廃プラでも受け入れ可能です。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	・CO2 削減量: RPF 760g-CO2/kg (石炭との比較) ・販売価格 : RPF 4~6 円/kg ・発熱量 : 6,000kcal/kg(石炭相当)	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	・1500 人の工場見学を実施。(平成 24 年度実績) ・平成 15 年中国地域ニュービジネス優秀賞を受賞。 ・平成 17 年 (財)クリーン・ジャパンセンター資源循環技術・システム奨励賞を受賞	

17.3.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃プラ	6,000	6,900	t
	紙くず、木くず、繊維くず	3,800	4,500	t
受入可能量	廃プラ	-	13,000	t
	紙くず、木くず、繊維くず、汚泥	-	9,000	t
販売実績量の推移	RPF	9,000	11,000	t
主な調達先	・繊維製造業、プラスチック製造業、木工業、解体業、同業者			
主な供給先	・製紙会社			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	・5,000 万円を投じて、三軸破碎機から一軸破碎機に変更したことにより、電気使用量が 17%削減した。 ・500 万円を投じて、塩素分析機を購入したことにより、原料が塩素含有物かの判断が容易となり、RPF の塩素含有率が低減した。 ・350 万円を投じて、粉じん対策としてミスト噴霧設備を設置した事により作業環境が改善された。			

17.4 甲世衛生組合エコワイズセンター

17.4.1 事業者情報

名 称	甲世衛生組合エコワイズセンター			
本社住所	〒729-3302	広島県世羅郡世羅町大字川尻 781-11		
資本金、出資金	千円			
従業員数	4 人			
設立年月日	昭和 40 年 8 月 11 日			
URL	http://			
事業概要	エコワイズセンター(ごみ固形燃料化施設)は、平成 10 年 4 月より【世羅町、三原市(久井町)、尾道市(御調町)】の一般廃棄物の可燃ごみ処理(RDF 製造)を行っている。			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	事務局		
	担当者名	森宗 康典		
	連絡先	電話番号	0847-23-0691	
		FAX	0847-23-0691	
E メールアドレス		kostc980@mail.mcat.ne.jp		

17.4.2 技術情報

キーワード	一般廃棄物、固形燃料			
技術名称	RDF 製造技術			
技術の分類	固形燃料化(RDF)			
目的・用途	RDFを発電の燃料に使用			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図	可燃ごみ→①破袋機→②磁選機→③1次破碎機→④乾燥機→⑤選別機→⑥2次破碎機→⑦石灰供給機→⑧成形機→⑨冷却機→RDF			
廃棄物の種類	一廃	可燃ごみ	受入条件、形状	靴、かばん、衣類等に付属した金属、プラスチック類は除く
供給資源・製品	RDF		形状	Φ15mm
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・焼却埋立処分されず新たな資源(固形燃料: RDF)としてリサイクルが可能である。	

17.4.3 実績情報

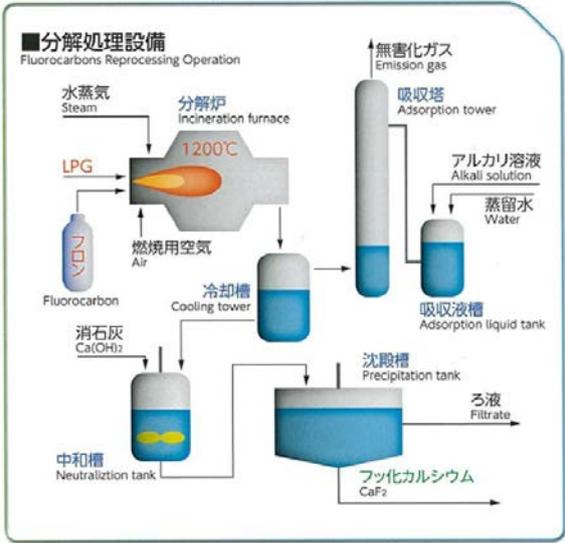
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	一般廃棄物(可燃ごみ)	3,582	3,597	t
受入可能量	一般廃棄物(可燃ごみ)	-	3,936	t
販売実績量の推移	RPF	1,872	1,843	t
主な調達先	構成自治体(対象地域:【世羅町、三原市(久井町)、尾道市(御調町)】)			
主な供給先	福山リサイクル発電(株)			

17.5 メキシケムジャパン株式会社

17.5.1 事業者情報

名 称	メキシケムジャパン株式会社			
本社住所	〒140-0002	東京都品川区東品川 2 丁目 2-20 天王洲郵船ビル 14 階		
資本金、出資金	320,000 千円			
従業員数	50 人			
設立年月日	平成 4 年 5 月			
URL	http://www.mexichemfluor.co.jp/			
事業概要	各種フルオロカーボンの製造販売、フルオロカーボン類の分解処理、再生			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	HFC工場		
	担当者名	村上義行		
	連絡先	電話番号	0848-67-5230	
		FAX	0848-67-5232	
E メールアドレス		yosh.murakami@teijin.co.jp		

17.5.2 技術情報

キーワード	回収フロン類、分解、リサイクル			
技術名称	炉内分解型液中燃焼法.			
技術の分類	有害廃棄物処理			
目的・用途	オゾン層破壊、地球温暖化の原因物質であるフロン類の破壊処理			
特長	多種類のフロン類の破壊が可能。全国一の処理能力を保有			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図	 <p>炉内分解型液中燃焼方式分解炉</p>			
廃棄物の種類	一廃・産廃	その他(フロン類)	受入条件、形状	ボンベ、ドラム缶等
供給資源・製品	高純度 HFC134a		形状	ボンベ
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	国内最大規模の処理能力を有し、高い分解効率、多種類のフロン類が処理できること、排ガス基準に対する高い信頼性、低処理コスト、迅速なフロン類回収容器の返却	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	原材料から得られる製品と同品質の高純度製品	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	日刊工業新聞社「オゾン層保護大賞」(1999年) 広島県「ひろしま環境賞(知事賞)」(2000年)	

17.5.3 実績情報

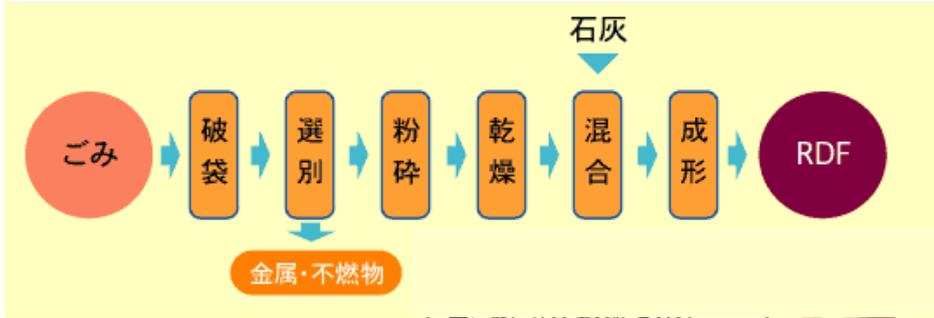
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	フロン類	非公開	非公開	トン
受入可能量	フロン類	-	非公開	トン
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			

17.6 福山市ごみ固形燃料工場

17.6.1 事業者情報

名 称	福山市ごみ固形燃料工場			
本社住所	〒721-0956	広島県福山市箕沖町 107 番地 7		
資本金、出資金	約 10,300,000 千円(建設事業費)			
従業員数	46 人			
設立年月日	平成 16 年 4 月 1 日			
URL				
事業概要	<p>・広島県において、ダイオキシン類の削減、未利用エネルギーの有効利用及び温室効果ガスの排出削減を行うため、広島県内の市町等でRDF化を行い、そのRDF燃料を利用して発電を行うリサイクル発電事業計画が推進され、その一角を担っている。</p> <p>・2012年度において、福山市内全体の可燃ごみの内、約7割に当たる 90116 トンを処理し、50605トンのRDFを製造した。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	福山市 経済環境局環境部福山クリーンセンター (ごみ固形燃料工場)		
	担当者名	高橋 徳至		
	連絡先	電話番号	084-957-4866	
		FAX	084-957-2174	
Eメールアドレス		rdf-koujou@ city.fukuyama.hiroshima.jp		

17.6.2 技術情報

キーワード	固形燃料、RDF		
技術名称	RDF製造技術		
技術の分類	「破碎・乾燥・選別及び成型」		
目的・用途	RDFは化石燃料の代替として、隣接する福山リサイクル発電(株)で発電用の燃料として使用されている。		
特長	熱量が安定していることにより、安定燃焼が得られるのでダイオキシン類の発生を抑制できる。また、腐敗・悪臭がおこりにくく、貯蔵や長距離輸送が可能である。		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図			
廃棄物の種類	一廃	一般家庭・事業系可燃ごみ	受入条件、形状 一辺が 50cm以下 径が 10cm以下
供給資源・製品	RDF		形状 φ 15～20mm 長さ 30～50mm
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	熱量約 4000kcalと通常のごみと比べ高く安定していることから、発電時に安定焼却が得られることでダイオキシン類の発生抑制ができること。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	1,341 人の施設見学受入れを実施。(2012 年度)

17.6.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	燃やせるごみ	90,640	90,116	トン
販売実績量の推移	RDF	50,999	50,605	トン
主な調達先	福山市内の一般家庭・事業所			
主な供給先	福山リサイクル発電株式会社			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	約 1,500 万円を通じ、12kW の太陽光発電設備を設置。工場内の照明等に利用している。(2011年)			

17.7 株式会社エコログ・リサイクリング・ジャパン

17.7.1 事業者情報

名 称	株式会社エコログ・リサイクリング・ジャパン			
本社住所	〒 720-0831	広島県福山市草戸町三丁目 12 番 5 号		
資本金、出資金	240,000 千円			
従業員数	5 人			
設立年月日	平成 6 年（1994 年）3 月			
URL	http://www.ecolog.co.jp			
事業概要	<p>繊維製品の回収循環型マテリアルリサイクルのネットワークを構築、運営。これまで分離技術がないためリサイクルが困難とされていた天然繊維とポリエステル混紡繊維製品について、酵素反応を利用して、天然繊維部分を分離・分解し、分離されたポリエステルの再生原料化を行います。混紡繊維製品をリサイクルする際に課題となる繊維成分の種類ごとの分離技術について、電気分解水で活性化した酵素反応を利用したバイオ技術を使って、天然繊維部分を溶脱させるという先導的なリサイクル施設です。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	管理本部		
	担当者名	田邊 和男		
	連絡先	電話番号	084-924-8509	
		FAX	084-923-3594	
E メールアドレス		tanabe-kazuo@ecolog.co.jp		

17.7.2 技術情報

キーワード	マテリアルリサイクル、再生 PET、繊維製品リサイクル		
技術名称	再生 PET 原料の製造技術		
技術の分類	加工・成型(再生品化)		
目的・用途	廃棄繊維製品等の再生 PET 原料化		
特長	1.酵素反応を利用したバイオ技術によるリサイクル 2.小型プラントで再生原料化が可能		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図			
廃棄物の種類	産廃	廃プラスチック類	受入条件、形状 ポリエステル 100%及び綿や毛混合の場合ポリエステル 65%以上含有
	産廃	繊維くず	受入条件、形状 ポリエステル 100%及び綿や毛混合の場合ポリエステル 65%以上含有
供給資源・製品	再生 PET		形状 粒状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・焼却埋立処分されず新たな資源(再生 PET 原料)としてリサイクルが可能であり、排出者は CSR(社会的責任)を向上することができます。CO2 排出量の削減と枯渇性資源の節減による環境影響の抑制に貢献できます。
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	・CO2 削減量: 335g (C/kg) ・消費エネルギー削減量: 20,962(MJ) * 新規製造に対して
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	表彰歴 一般社団法人産業環境管理協会「平成 25 年度資源循環技術・システム表彰」会長賞受賞 (平成 25 年度)

17.7.3 実績情報

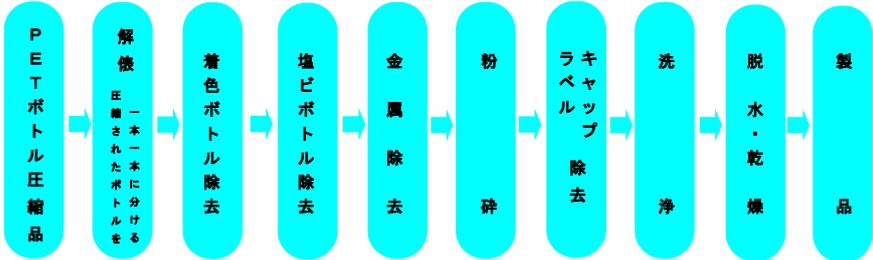
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	繊維くず・廃棄繊維製品	75	37	t
	廃プラスチック類	50	50	t
受入可能量	廃プラスチック類及び繊維くず	-	600	t
販売実績量の推移	PET	125	87	t
主な調達先	不織布製造業者、アパレルメーカー及び繊維製品販売業者			
主な供給先	原綿製造業者、射出成形業者			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	<ul style="list-style-type: none"> ・エタノール製造方法特許取得(平成 25 年) ・発酵濃縮装置および発酵濃縮方法。特許出願中(平成 24 年) ・セルロース系繊維廃棄物からの省エネ型バイオエタノール製造技術開発 (平成 22 年～24 年) 			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	2,500 万円を投じて、金型、裁断機、ブレンドミキサー、定量フィーダーなど導入し、再生 PET 原料を使用した大型射出成形品の射出成型技術開発を実施。			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人広島循環型社会推進機構「循環型社会形成推進機能強化事業」(平成 25 年度) ・経済産業省「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」(平成 24 年度) ・広島県「産業廃棄物抑制・リサイクル関連研究開発費補助金」(平成 24 年度) ・独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 「新エネルギーベンチャー技術革新事業」(平成 22 年度～24 年度) 			

17.8 日本合織株式会社

17.8.1 事業者情報

名 称	日本合織株式会社		
本社住所	〒720-0031	広島県福山市三吉町五丁目1番40号	
資本金、出資金	60,000 千円		
従業員数	17 人		
設立年月日	創業：1961(昭和 36)年	現事業：2000(平成 12)年開始	
URL			
事業概要	<p>・PETボトルの再商品化事業を行っており、使用済みボトルを繊維等となる再生原料にリサイクルしています。</p> <p>・容器包装リサイクル法に基づく、指定法人である(公益財団法人)日本容器包装リサイクル協会の委託を受け、市町村から、使用済みPETボトルを引き取って、再生中間処理(選別・粉砕・洗浄・フレーク化)を行い、資源の有効利用に取り組むとともに、効率のよいリサイクルシステムを構築しています。</p>		
事業所写真	掲載無		
問合せ先窓口	部署名	総務部	
	担当者名	橋本博文	
	連絡先	電話番号	084-925-5522
		FAX	084-925-6155
E メールアドレス		h-hashimoto@j-gousen.com	

17.8.2 技術情報

キーワード	廃プラ、PET ボトルフレーク		
技術名称	PET樹脂再生材料化技術		
技術の分類	その他(PETボトルの選別・粉碎・洗浄)		
目的・用途	再生したPETフレークは、繊維・シートメーカー等で加工され、衣料・車両用装材・工業用資材など多くの再利用製品に生まれ変わっています。		
特長	繊維・シート・成形品化等の加工工程を経ることにより、様々な再利用製品(ユニフォーム、ボトル、卵パック、文具、包装バンドなど)に利用可能です。		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図			
廃棄物の種類	一廃	PETボトル	受入条件、形状 キャップがなく、中身の残りや異物の入っていないもの
供給資源・製品	再生PETフレーク		形状 Φ8mm
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	各市町村において資源循環型社会構築に向けての取り組みが行われる中で、PET ボトルのリサイクルは、資源の有効利用、資源の節減が図られるとともに、環境に配慮した廃棄物処理が可能となります。 PET ボトル再商品化製品の品質基準値に適合
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	

17.8.3 実績情報

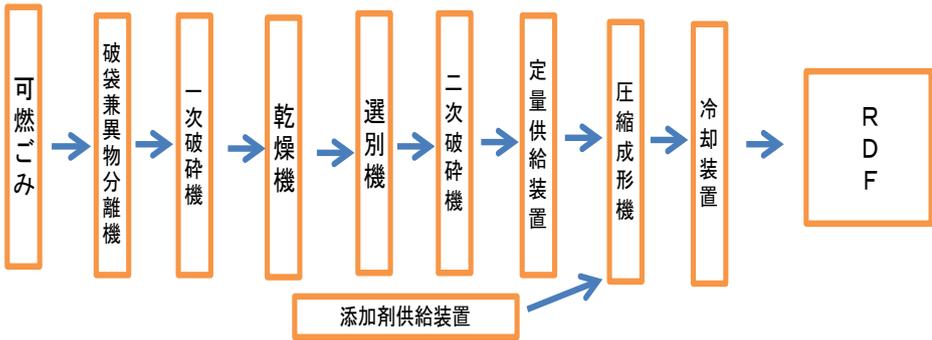
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃 PET ボトル	非公開	非公開	t
受入可能量	廃 PET ボトル	-	非公開	t
販売実績量の推移	再生PETフレーク	非公開	非公開	t
主な調達先	主に指定法人経由の市町村・一部事務組合組合等			
主な供給先	主に繊維メーカー、シートメーカー等			

17.9 府中市クリーンセンター

17.9.1 事業者情報

名 称	府中市クリーンセンター			
本社住所	〒726-0002	広島県府中市鶉飼町 74 番地 2		
資本金、出資金	3,720,150 千円（建設に関する装事業費）			
従業員数	9 人（直接従事者数）			
設立年月日	平成 14 年			
URL				
事業概要	<p>・府中市内の家庭や事業所から排出される一般廃棄物のうち、可燃ごみ（厨芥類、紙類、繊維くず、剪定枝・草類等）を、固形燃料化(RDF)し、広島県福山市箕沖町にある福山リサイクル発電所へ、供給しています。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	市民生活部環境整備課庶務管理係		
	担当者名	新野 雅行		
	連絡先	電話番号	0847-43-7144	
		FAX	0847-43-9223	
E メールアドレス		kannkyou@city.fuchu.hiroshima.jp		

17.9.2 技術情報

キーワード	可燃ごみ、固形燃料		
技術名称	RDF製造技術		
技術の分類	固形燃料化(RDF、RPF)		
目的・用途	RDFは、福山リサイクル発電所で発電するために使用されています。		
特長	発熱量、品質、腐敗しにくさ、長期の貯蔵、輸送面において、ごみそのものよりも優れている。		
設備、製品等の写真、イメージ	 		
処理フロー図			
廃棄物の種類	一廃	可燃ごみ	受入条件、形状 金属等の異物の混入がないこと、塩ビ管など塩素を含まないもの
供給資源・製品	RDF		形状 Φ10mm
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・焼却埋立処分されず新たな資源(固形燃料: RDF)として再利用され、ダイオキシン類やCO2排出量の削減と環境影響の抑制に貢献できます。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	市内の小学生約200人の施設見学を受入。

17.9.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	可燃ごみ	7,946	7,762	t
受入可能量	可燃ごみ	-	12,000	t
販売実績量の推移	RDF	3,387	3,464	t
主な調達先	市内から収集される家庭ごみ			
主な供給先	福山リサイクル発電株式会社			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	設備の部品購入や維持修繕に約 564,082 千円 (H20～24 年度合計)			

17.10 株式会社エフピコ

17.10.1 事業者情報

名 称	株式会社エフピコ			
本社住所	〒721-8607	広島県福山市曙町一丁目 12 番 15 号		
資本金、出資金	131 億 5,000 万円			
従業員数	712 人(エフピコグループ:3,977 人)			
設立年月日	1962 年(昭和 37 年)7 月			
URL	http://www.fpco.jp/			
事業概要	ポリスチレンペーパーおよびその他の合成樹脂製簡易食品容器の製造・販売並びに関連包装資材等の販売			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	環境対策室		
	担当者名	馬屋原 慧准		
	連絡先	電話番号	084-957-2301	
		FAX	084-957-2303	
E メールアドレス		EcoTray-FP@fpco-net.co.jp		

17.10.2 技術情報(1)

キーワード	トレーtoトレーのリサイクル			
技術名称	使用済み発泡スチロールトレーのリサイクル技術			
技術の分類	選別・破砕および加工・成型(再生品化)			
目的・用途	スーパーマーケットの店頭及び自治体で回収された使用済みトレーを原料として再生される「エコトレー」は環境負荷低減製品としてスーパーマーケットなどで使用されています。			
特長	使用済みトレーを回収し再生原料化(ペレット化)し、トレーに再生する「トレーtoトレー」の循環型リサイクル。再生された「エコトレー」はバージントレーと比較し約35%のCO2排出抑制効果があります。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	有償	使用済み発泡スチロールトレー	受入条件、形状	洗浄・乾燥・選別されているもの、有り姿のまま回収
供給資源・製品	「エコトレー」(再生トレー)		形状	
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	使用済み発泡トレーを地上資源として循環型リサイクルが可能であり、排出者はCSRを向上することができます。また、CO2排出量の削減と枯渇性資源の節減による環境影響の抑制に貢献できます。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	CO2削減量: 2.27kg-CO2/kg	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	「平成18年度容器包装3R推進環境大臣賞」にて「製品部門最優秀賞」受賞(2007年4月)(財)日本環境協会主催「エコマークアワード2010」にて「金賞」受賞(2011年2月)福山リサイクル工場見学者実績: 6,888名(平成24年度)	

17.10.3 技術情報(2)

キーワード	ボトル to トレーのリサイクル			
技術名称	透明容器及び PET ボトルリサイクル技術			
技術の分類	選別・破砕および加工・成型(再生品化)			
目的・用途	使用済みPETボトル及び透明容器を原料化(フレーク化)して再生された「エコAPET」は環境負荷低減製品としてスーパーマーケットなどで使用されています。			
特長	使用済み透明容器及び PET ボトルを原料として再生されるリサイクル透明容器「エコAPET」は地上資源の有効活用に寄与しています。また、バージン透明容器と比較し約33%のCO2排出抑制効果があります。			
設備等の写真				
処理フロー図	<p>使用済み透明容器処理フロー 福山リサイクル工場(広島県内事業所)</p> <pre> graph LR A[搬入] --> B[傾斜コンベア] B --> C[一列化] C --> D[手選別・整列] D --> E[素材識別] E --> F[素材選別] F --> G[前処理工程] G --> H[洗浄工程] H --> I[揮発留分除去工程] I --> J[フレーク完成(エコAPET原料)] </pre> <p>使用済みPETボトル処理フロー 福山リサイクル工場(広島県内事業所)</p> <pre> graph LR K[搬入] --> L[選別] L --> M[減容・圧縮] M --> G[前処理工程] </pre> <p>中部リサイクル工場(岐阜県)</p>			
廃棄物の種類	有償	PETボトル	受入条件、形状	洗浄・乾燥・選別された物
	有償	透明容器	受入条件、形状	洗浄・乾燥・選別されているもの、有り姿のまま回収

供給資源・製品	「エコAPET」(再生透明容器)		形状	
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	使用済み透明容器及び PET ボトルを地上資源としてリサイクルが可能であり、排出者は CSR を向上することができます。また、CO2 排出量の削減と枯渇性資源の節減による環境影響の抑制に貢献できます。	
	製品購入者側のメリット	例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	CO2 削減量: 1.61kg-CO2/kg	
	その他	例)受賞歴、見学受入者数等	福山リサイクル工場見学者実績: 6,888 名(平成 24 年度)	

17.10.4 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	PSP	2,600	3,200	t
	透明容器	-	450	t
	PETボトル	-	50	t
受入可能量	PSP	-	8,000	t
	透明容器	-	480	t
	PETボトル	-	600	t
販売実績量の推移	エコトレー(全国の販売量)	14,100	18,600	t
	エコAPET(全国の販売量)	-	5,200	t
主な調達先	スーパーマーケット等の店頭回収、指定法人ルート自治体、独自契約自治体			
主な供給先	スーパーマーケット・コンビニエンスストア等の小売業、食料品製造業			
設備投資の実績(過去 5 年間)	非公開			

17.11 株式会社中國開發

17.11.1 事業者情報

名 称	株式会社中國開發			
本社住所	〒 729-3401	広島県府中市上下町小塚 659 番地		
資本金、出資金	6,650 千円			
従業員数	35 人			
設立年月日	平成 1982 年 8 月 1 日			
URL	http://www.chugoku-kaihatsu.co.jp/			
事業概要	建設、林業、運送業、産業廃棄物処理、食品リサイクル、養豚、堆肥事業			
事業所写真	 <p style="text-align: center;">本社</p>			
問合せ先窓口	部署名	株式会社 中國開發		
	担当者名	池田 博信		
	連絡先	電話番号	0847-62-4584	
		FAX	0847-62-2592	
E メールアドレス		info@chugoku-kaihatsu.co.jp		

17.11.2 技術情報(1)

キーワード	食品リサイクル			
技術名称	GENリキッドフィードシステム			
技術の分類	収集・運搬・破碎・選別			
目的・用途	家畜の餌			
特長	食品残渣・余剰農産物を選別・粉碎・殺菌後タンクの中で黒麹で発酵させ液状の家畜の飼料を製造			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	動植物性残渣	受入条件、形状	有害物質等含まない物
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	処分費が安く、循環型リサイクルで会社のイメージアップになる。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	飼料購入費の低減、購入者に合せた配合ができる。	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	166名の施設見学受入を実施 24年実績	

17.11.3 技術情報(2)

キーワード	堆肥			
技術名称	ハイテク堆肥			
技術の分類	堆肥、液体肥料化			
目的・用途	連作障害防止、土壌改良、農作物の良作			
特長	発芽率100%腐食堆肥			
設備等の写真				
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	動物のふん尿	受入条件、形状	自社の糞尿のみ
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	自社養豚場の糞尿リサイクル 堆肥が軽量で細かいので農作業が簡単、また堆肥の臭いが少ない	
	製品購入者側のメリット	例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等		

17.11.4 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	動植物性残渣	-	1,142	T
受入可能量	動植物性残渣	-	5,840	t
主な調達先	食品会社			
主な供給先	自社消費			
補助金等支援策の活用実績(過去 5 年間)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年度広島県産業廃棄物排出抑制・リサイクル施設整備費補助事業 ・平成 23 年度広島県建設業新分野進出支援補助事業 			